

1. 基本情報						
自治体名	事業番号	事業名				
新地町	A-2	アートの町「新地」創造・アートの魅力発信事業				
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	合計額
総事業費			20,372,000	24,987,000	24,950,200	70,309,250
対象事業費区分						
情報発信事業				外部人材活用		施設改修
風評調査	体験企画	情報発信	ポータル	外部人材	語り部	
		○				
2. 事業の実施状況サマリー						
個別の事業名	開始年度	終了年度	具体的な取組内容の実績			
アートのまち新地創造プロジェクト「アートの魅力発信事業」	令和5年度	令和7年度	絵画展、企画展、招聘ツアー、フォトコン、スタンプラリー、ワークショップ			

3. アウトプット・アウトカムの達成状況

アウトプット①	アートイベント開催数				
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標			1 回	2 回	2 回
実績			1 回	2 回	2 回

アウトプット②	招聘ツアーの実施				
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標			1 回	1 回	1 回
実績			1 回	1 回	1 回

アウトプット③	アーティストやインフルエンサーによるモニターツアーの実施				
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標			5 回	2 回	
実績			2 回	2 回	

アウトプット④	SNS発信（通常投稿）				
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標			1 0 回以上	1 0 回以上	1 0 回以上
実績			1 0 1 回	5 7 回	4 8 回

アウトプット⑤	スタンプラリー・フォトコン				
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標			1 回		1 回
実績			1 回		1 回

アウトカム①	モニターツアーへの参加者・アンケート回収				
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標			参加者 100人 アンケート回収 100%	参加者 100人 アンケート回収 100%	
実績			参加者 96人 アンケート回収 85.4%	参加者 59人 アンケート回収 100%	

アウトカム②	アートイベント来場者による県外からの集客				
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標			1000人	3000人	2000人
実績			1000人	1100人	1800人

4. 風評の払拭に関する目標の達成状況					
風評の払拭に関する目標①	設定期間	令和5年度	～	令和7年度	
宿泊者数 6,095 人（平成22年度比で15%増加）					
目標達成度	従前値	目標値	実績値	実績値の根拠	
95%	令和4年度	令和7年度	令和7年度	町独自で集計	
人	5,300	6,095	5,800		
風評の払拭に関する目標を変更した理由					

5. 総合評価

事業実施による評価

本事業はこれまで行ってきた「絵になるまちづくり推進事業」に取り組んできたことをベースに、アートの町としてイベントを定着させると共に県外へ安心・安全をPRするため、令和5年度から3年間にわたり展開した。

「新地」の持つ多彩な魅力を活かして町のイメージを発掘し、SNSの効果的な発信により町の認知拡大をはかったことで、総合的に町の価値を高めることができ、県外誘客につながり宿泊者増に貢献できた。

アートの町として、R5の「新地町のゆかりの画家 志賀一男&坂元郁夫」、R6の「新地町の風土が生んだ4人の画家たち展」「新地ゆかりの建築家 遠藤新展」、R7の「新地町ゆかりの画家4人展」「横山孝雄原画展」を事業の中心としながらも、デジタルスタンプラリー・フォトコン・ワークショップといった新地町全体でアートを体験できる事業を行ったことにより、町の観光資源の知名度向上に大きく貢献した。特に、R7年に開催した「横山孝雄原画展」はこれまでのアート事業の取組の中で新たにアート資源としての発掘に繋がった。

・アートイベント参加者へのアンケート結果では約9割からの好意的な回答が得られた。

【令和5年度】

絵画展来場者アンケート・モニターツアー参加者アンケート・招聘ツアー参加者アンケート

回答者863人の9割が好印象の回答

【令和6年度】

モニターツアー参加者アンケート、絵画展来場者アンケート、遠藤新展来場者アンケート、学生招聘ツアー参加者アンケート、ファミツアー参加者アンケート

回答者1,579人の9割が好印象の回答

【令和7年度】

絵画展来場者アンケート・横山孝雄原画展来場者アンケート、招聘ツアー参加者アンケート、ワークショップ参加者アンケート

回答者1,665人の9割が好印象の回答

その要因としては「新地」の持つ多彩な魅力を活かして町のイメージを発掘し、効果的な情報発信により町の認知拡大をはかったことと、豊かで雄大な自然、食のおいしさと安全性、歴史的で伝統的な景観や文化など、アートにとどまらない町の魅力を存分に感じてもらうことができたからである。

最終的なアウトカム目標としていた「令和7年度の宿泊者数6,095人」に対して、実績は5,800人と未達となった。

この主な要因としては、本事業を通じて行ったアート事業の集客力は実証され、県外のアーティストを対象とした招聘ツアーを行ったものの、一般の方の宿泊につながるアートを体験できるパッケージが不足していた点である。

アートも含め、新地町の観光・食・体験ができるプログラム(非日常的な体験等)や地元ガイド同行ツアーなどの質の高い体験機会が必要不可欠で、町内宿泊施設との連携による宿泊パッケージの造成や相互送客の仕組みづくりを進めていくことが課題である。

また、県外の若手アーティストが新地町に滞在しながら、アートなどの創作活動する環境を整備することも課題である。

本事業の3年間を通じて、アートイベントを通じて県外からの多数の来場を招くことができ、また、来場者の積極的な投稿や充実した町ウェブサイトでアートの魅力を配信することにより、町の情報発信につながり、町の認知拡大へ繋がった。

今後も豊富なアート資源に加え歴史的かつ伝統的な景観や文化などを加えた、アートの町として継続して取り組み、県外からの誘客を図り、さらなる交流人口の拡大と地域経済の活性化を目指していく。